

女性のつながりサポート事業【春日井市】

総事業費	213 千円
交付金額	90 千円

地域の実情と課題

春日井市においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活スタイルや働き方が変化したことで、社会との接点がなくなり孤立や孤独で不安を抱える女性や、休業や失業に直面する女性、経済的困窮などにより生理用品が購入できない「生理の貧困」など、様々な困難や課題を抱える女性が増加している。そのため、緊急的に女性の相談窓口を設置し、不安の解消に寄り添った支援を行うとともに、他機関と連携し必要な機関につなげる必要がある。

目的・目標

【目的】他機関と連携し、不安を抱える女性を必要な支援機関に繋げる機能を充実することにより、課題の解決につなげる。
 【目標】イベントを10回開催するという目標は達成することができた。親子ひろばが定着してきており、延べ231人の女性の居場所の作ることができた。毎回ボランティアによる聞き取りを実施し、悩みや困りごとに寄り添った。

事業の特徴

不安を抱える女性を支援するため、女性の居場所づくりとして月に1回「親子ひろば」を開催する。ボランティアによる悩みの聞き取りを実施し、必要に応じて支援機関につなげる。

連携団体

- ・民間の子育て支援施設に指導を依頼した。
- ・新たなボランティアの育成についても、民間の子育て支援施設に依頼した。

事業の効果

これまで育成してきたボランティアを活用し、月1回のペースで親子ひろばを開催することができた。悩みを抱える子育て中の女性の居場所をつくることで、不安や悩みを話す機会の創出、孤立の解消、行政サービスや支援策とのつながりの形成により悩みごとに寄り添うことができた。

今後の課題

- ・親子ひろばを安定的に開催するため、さらなるボランティア人材を育成していく必要がある。
- ・現在活動しているボランティアが継続して活動できるよう、支援していく必要がある。

事業の概要

○女性のつながりサポート事業

不安を抱える女性を支援するため、女性の居場所づくりとして月に1回「親子ひろば」を開催する。ボランティアによる悩みの聞き取りを実施し、必要に応じて支援機関につなげる。

【行事名】レディヤンかすがい親子ひろば

【日時】毎月第3木曜日(8月と3月を除く) 午前10時から午前11時まで

【参加人数】延べ231名

【内容】女性の居場所づくりのため、親子で参加できるイベントを開催。絵本の読み聞かせ、パネルシアター、体操、手遊びなどを実施。その前後に自由に遊べる時間を設け、ボランティアによる悩みや困りごとの聞き取りを行い、必要に応じて相談窓口へつなぐ。

【今後の活動】月1回のペースで女性の居場所を提供する。

